

令和 6 年 3 月 27 日  
岡 山 大 学

## 岡山大学病院小児科 クラウドファンディングに挑戦中！

### 「入院中でも勉強したい」病とたたかう子どもの想いに応える環境整備を

岡山大学病院小児科は3月13日、クラウドファンディングプロジェクト「『入院中でも勉強がしたい』病とたたかう子どもの想いに応える環境整備を」の公開を READYFOR 株式会社のプロジェクトページで行い、寄付金の募集を開始しました（終了日：5月10日（金）午後11:00まで）。

プロジェクトの成立に向けて皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。また、ご家族・ご友人等に広めていただくなどのご協力をいただければ幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

#### 1. 背景：入院中でも「勉強」を続けたい。子どもたちの想いに応えられる病院に

岡山大学病院小児科は設立以来約130年となり、長い歴史と伝統があります。当小児科は中国四国地域の基幹小児科として、この地域の小児医療を支えてきました。そして、当院では、2012年9月に先進的で総合的な小児医療を目指して「小児医療センター」が設置されました。当センターは内科系・外科系にとどまらずこころの診療まですべての領域で、最適な高度医療を提供しています。

当院の「小児医療センター」には、難治性の病気のために長期入院を余儀なくされる子どもがたくさんいます。学校に通えない間、切れ目なく学習を支援するために院内学級（小・中学校）が設置されていますが、支援のための人や物資はきわめて限定的です。また、院内学級のない高校生への教育環境の整備は、小・中学校に比べてさらに遅れています。

このような課題を解決するため、私たちは、リモートでの教育支援に挑戦します。具体的には、パソコン、ヘッドセット、モニターとして使用できる電子黒板といった資材を準備し、体調が変動しやすい子どもを援助するスタッフを配置して、元々在籍していた学校や岡山大学教育学部の先生による遠隔教育支援を受けられるようにしたいと考えています。

入院して病気とたたかっている間も、子どもたちが学習を継続できるよう、皆様のお力をいただけないでしょうか。皆様の温かいご寄付をどうぞよろしくお願いいたします。

#### 2. 長期入院を余儀なくされる子どもたちに勉強の機会を提供

岡山大学病院小児科には、小児がんや重症心疾患など難治性の病気のために長期間入院する子どもが沢山います。当院には院内学級（小・中学校）があり、また複数の保育士さんが勤務しております。医師、看護師のみならず多職種メンバーで、長期入院を余儀なくされる子どもたちに切れ目なく教育面のサポートをすることを目指しております。



## PRESS RELEASE

当院の院内学級では、近隣の鹿田小学校と桑田中学校の分校としてそれぞれの学校から教師を派遣していただいています。病室から出られる子どもたちは病棟に併設されている教室まで来て授業を受け、病室から出られない子どもには教師がベッドサイドまで行き個別に授業を行ってくださっています。

### 3. 病院にいても「遠隔教育」で勉強を継続することができるように

当院における教育面のサポートに対する課題を解決するべく、「リモートでの教育支援」が実施できる環境を整備するためにプロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトでは、リモートでの教育支援に必要なパソコン、ヘッドセット、モニターとして使用できる電子黒板といった物品の購入し、体調の変動の予想される患児たちをサポートする人員を配備し、「遠隔授業」「遠隔教育」の実現を可能にします。

義務教育の小・中学生においては、院内学級に加えて、岡山大学教育学部のメンバーによる遠隔学習支援、また義務教育外の高校生においても、元々在籍していた高校との遠隔授業や岡山大学教育学部のメンバーによる遠隔教育を行うことで、教育環境を大幅に充実させることができると考えています。

総合大学である岡山大学の特徴を活かし、現在、教育学部・吉利宗久教授とその教室メンバーの協力体制も計画しています。これらの取り組みにより、一人ひとりの子どもたちに合わせた学習進度や分野に特化して学習サポートを行うことができます。



### 4. プロジェクト概要と寄付金の使途

#### ①運営主体

岡山大学病院 小児科

(〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学鹿田キャンパス)

<https://okapediatrics.med.okayama-u.ac.jp/>



#### ②プロジェクト概要

入院している小中高生が「遠隔学習支援」で学べる環境を構築する

#### ③寄付金の使途（内訳概算）

第一目標金額：300万円でできること



## PRESS RELEASE

遠隔教育に必要なパソコン、ヘッドセット、モニターとして使用できる電子黒板といった物品の購入、体調の変動の予想される患儿たちをサポートする人員の配備

### ④本プロジェクトの実施期間（予定）

2024年8月 備品の購入

2024年9月 遠隔教育などの学習支援の開始

※プロジェクトの進捗状況次第では、スケジュールが前後する可能性があります。

### 5. 実行メンバー

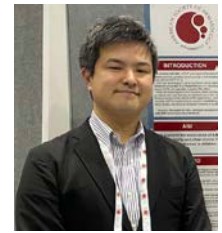
塚原 宏一（岡山大学病院 小児科科長 副病院長）

昨年4月、「こども家庭庁」が発足しました。伊原木知事も子ども施策に全力で取り組むと強い思いを述べられ、「教育」を重点課題として掲げてくださっています。岡山大学病院「小児医療センター」も、子どもの最善の利益を中心にすえた診療と子育て支援に真摯に取り組んでいます。私もすべての子どもが大切にされ、平等に教育を受けられる社会の実現に貢献したいと思っています。皆さまとともに、このチャレンジを成功させたいです。



石田 悠志（岡山大学病院 小児血液腫瘍科 病院講師）

小児がんを専門としている小児科医です。小児がんは多くの場合治る病気になりましたが、一方で1年近く入院していただくことも多くあります。彼ら・彼女らは日々勇敢に病気に立ち向かっておりますが、入院していない子どもたちと同じだけの学習環境を提供できておりません。多くの方に現状を知って頂き、そしてご寄付いただけますと幸いです。



宮地 恵子（岡山大学病院 小児病棟 看護師長）

治療のための点滴を押しながら院内学級に通い、友達ができ、「学校行ってきまーす」「帰りました。」「今日は算数頑張ったよ」と笑顔で話してくれる子ども達もいます。その中で、治療の影響で院内学級に通えず一人で勉強している子ども達もいます。すべての子ども達に学習環境が整い学びつづけられることで、子ども達の将来の可能性を広げることを願っています。皆様のご寄付をお願いいたします。



遠藤 佳央 / 辻 仁美 / 川口 由香（岡山大学病院 小児病棟 保育士）

院内学級においては、先生に教えてもらいながら学習できる安心感はもちろんのこと、仲間と共に学び、遊び、他愛のない話をして笑い合い、お互いの病気や治療の話をするなど、同じような経験をしているからこそ理解し合えることがあると感じています。高校生が、長期入院をすることによって将来への不安を膨らませ、社会から孤立してしまうことのないように、学習環境、同世代の交流ができるような環境を整えたいと願っています。未来ある子どもたちを、学習の面からもサポートできる環境づくりの第一歩を踏み出すために、皆さまのご寄付をどうぞよろしくお願い申し上げます。



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学病院  
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

1870

6. プロジェクト実施ページ

「入院中でも勉強したい」病とたたかう子どもの想いに応える環境整備を  
(寄付募集は2024年5月10日(金)午後11:00まで)

[https://readyfor.jp/projects/okadai\\_shoniiryo](https://readyfor.jp/projects/okadai_shoniiryo)



# PRESS RELEASE



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY



Japan.  
Committed  
to the SDGs



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

<お問い合わせ>

岡山大学病院 小児科

TEL : 086-235-7249

FAX : 086-221-4745



目標金額 300万円 2024年 3月 13日 (水) から 5月 10日 (金) まで

＼岡山大学病院 小児科 がクラウドファンディング挑戦中／

## 「入院中でも勉強したい」 病とたたかう子どもの想いに応える環境整備を

※本プロジェクトはAll or nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご寄付は返金いたします。  
※本プロジェクトへのご寄付は岡山大学へのご寄付となり、税制優遇の対象になります。

岡山大学病院小児科は設立以来約130年となり、長い歴史と伝統があります。当小児科は中国四国地域の基幹小児科として、この地域の小児医療を支えてきました。そして、当院では、2012年9月に先進的で総合的な小児医療を目指して「小児医療センター」が設置されました。当センターは内科系・外科系にとどまらずこころの診療まですべての領域で、最適な高度医療を提供しています。

当院の「小児医療センター」には、難治性の病気のために長期入院を余儀なくされる子どもがたくさんいます。学校に通えない間、切れ目なく学習を支援するために院内学級(小・中学校)が設置されていますが、支援のための人や物資はきわめて限定的です。また、院内学級のない高校生への教育環境の整備は、小・中学校に比べてさらに遅れています。

このような課題を解決するため、私たちは、「リモートでの教育支援」に挑戦します。具体的には、パソコン、ヘッドセット、モニターとして使用できる電子黒板といった資材を準備し、体調が変動しやすい子どもを援助するスタッフを配置して、元々在籍していた学校や岡山大学教育学部の先生による遠隔教育支援を受けられるようにしたいと考えています。

入院して病気とたたかっている間も、子どもたちが学習を継続できるよう、皆様のお力をいただけませんか。皆様の温かいご寄付をどうぞよろしくお願いいたします。



岡山大学病院 小児科 レディーフォー



お問合せは、岡山大学病院 小児科 秘書 まで直接ご連絡ください。

EMAIL : [pediatr@md.okayama-u.ac.jp](mailto:pediatr@md.okayama-u.ac.jp)

[https://readyfor.jp/projects/okadai\\_shoniiryo](https://readyfor.jp/projects/okadai_shoniiryo)



# ご寄付の方法

「岡山大学病院 小児科 レディーフォー」で検索。または表面のQRコードを読み込んでください。

1

プロジェクトの寄付にすすむ  
をクリック



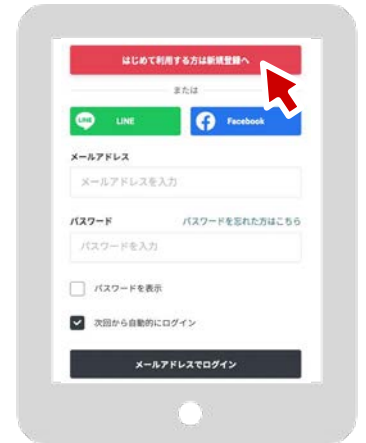
2

希望するコースにチェック  
を入れ、個数を選択し  
次に進むをクリック



3

はじめて利用する方は新規登録へ  
をクリック



4

情報を入力し  
メールアドレスで登録  
をクリック



5

支払い方法を選択する



6

必要情報を入力

- ★クレジットカードの場合  
→カード情報を入力
- ★銀行振込の場合  
→画面の案内をお読みください
- ★コンビニ支払いの場合  
→画面の案内をお読みいただき、  
コンビニの種類を選択

※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応です。寄付金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご寄付でご利用いただけます。



入力したメールアドレス宛にREADYFORからメールが届きます。  
受信したメールの本文内にあるURLをタップしてください。

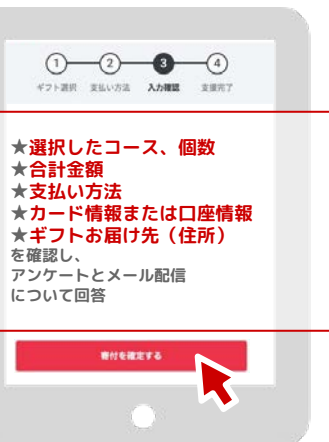
7

ギフトお届け先(住所)を入力し  
入力内容の確認画面へ  
をクリック



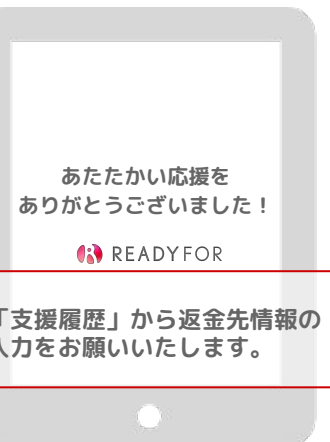
8

入力情報を最終確認し、  
寄付を確定する  
をクリック



- ★選択したコース、個数
  - ★合計金額
  - ★支払い方法
  - ★カード情報または口座情報
  - ★ギフトお届け先(住所)
- を確認し、アンケートとメール配信について回答

お手続き完了です！



※「支援履歴」から返金先情報のご入力をお願いいたします。